

## 参考資料 1

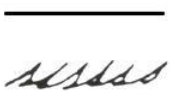
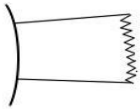
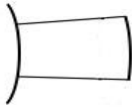
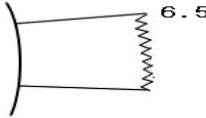
### 競技課題 1 ファッションヘアカット＆カラー カット展開図の作成方法

#### 作成手順

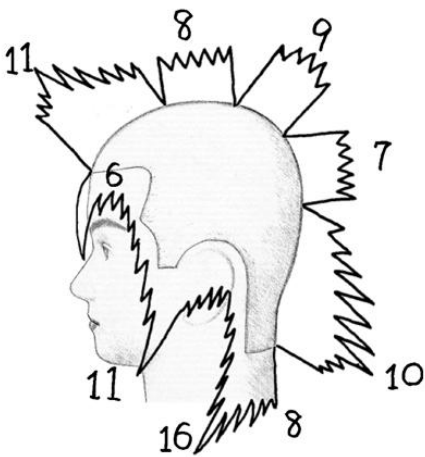
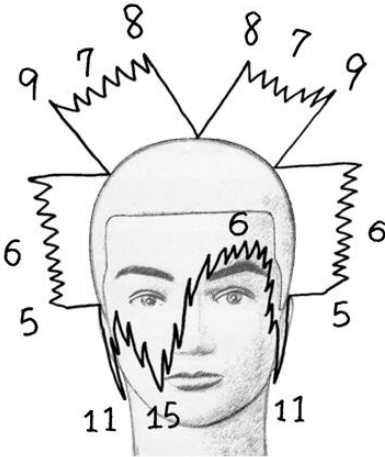
1. 競技開始後直ちに、自分が創ろうとする作品がイメージできる展開図を作成する。
2. 記入例を参考にして、仕上がりがイメージできるようにカットラインを書きこむ。
3. 指定されている箇所の仕上りの長さを記入する。
4. 仕上りのスタイルがイメージできる説明を記入する。

#### 注意事項

1. 側面からの展開図の場合、正中線上のカットラインを書くこと。
2. 正面からの展開図の場合も、EEP 上のカットラインを書くこと。
3. 基点となるフロント・トップ・クラウン・ネープ・サイドの長さ (cm) を記入すること。

	<p>ストレート</p> <p>シャギー調</p>		<p>毛先のシャギー調</p>
	<p>ブラントカット</p>		<p>6.5</p>

#### 記入例（あくまでイメージのひとつです）

<p>※数字の単位は cm</p>  <p>【仕上りイメージ】 セミアゲは長く残し、サイドは耳が少し見える程度。</p>	 <p>【仕上りイメージ】 フロントはバングさせ、アシンメトリー。トップはスパイキー。</p>
<p>側面図（基本：正中線上のカットライン）</p>	<p>正面図（基本：E.E.P ライン上のカットライン）</p>

## 参考資料 2

### 競技課題 1 ファッションヘアカット＆カラー カラーリング指示図の作成方法

#### 作成手順

1. 記入例のように、所定の用紙（当日配布）の図形に番号等を書き込む。
2. カラーチャートを貼りつける。

#### 注意事項

1. 自分の創る作品に使用するすべての色味を、毛束に表現し持参すること。
2. 毛束は、下の写真のように、長さ 7 c m 程度、太さ 1 c m 程度で、バラけないように輪ゴム等で端を固定してくること。



記入例（あくまでイメージのひとつです）

番 号	①	②	③	④	⑤
毛 束					

### 参考資料 3

#### 競技課題 1 ファッションヘアカット＆カラー 「ネオンカラー」の参考写真

##### 【良い例】



##### 【悪い例】



## 参考資料 4

### 競技課題 3 パーマネントウェーブ&ヘアカット ウェーブ指示書の作成方法





#### 作成手順

記入例のように、自分の創る作品に施す全てのパーマネントウェーブの仕上がり状態を分かりやすく表現する。

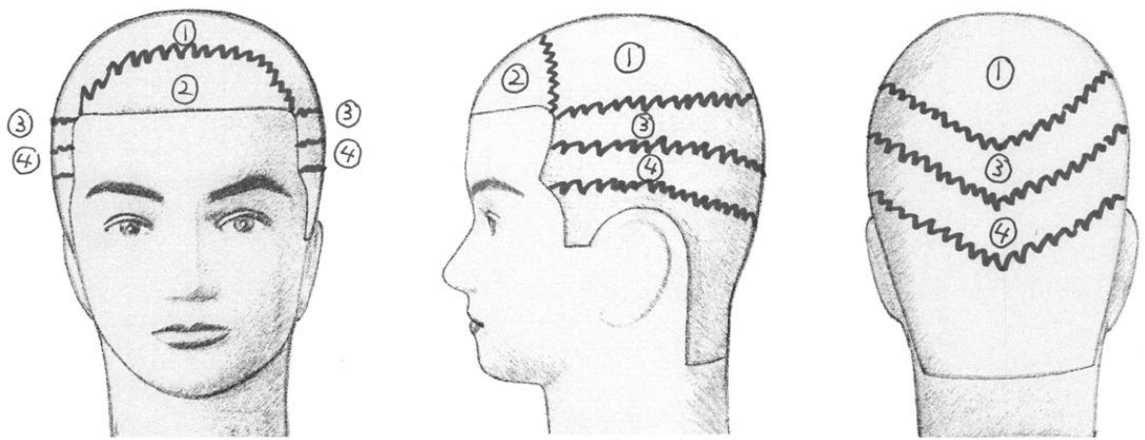




#### 注意事項

競技当日、事前に記入したウェーブ指示書を必ず持参すること。

#### ウェーブの状態図の表現例

	ワンカール		ウェーブ スパイラル		カーリー		ハーフ カール
---	-------	---	---------------	---	------	---	------------

記入例（あくまでイメージの一つです。事前記入用紙には4方向を記入してください）

				
番 号	①	②	③	④
ウェーブ 状態図				

## 参考資料5

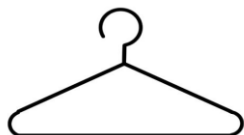
## 全競技課題共通 簡単なウィッグのボディーの作成方法

日本の競技大会において、ボディーの装着というのはあまり馴染みのないものですが、技能五輪国際大会やOMC主催の各種国際大会（ジュニア部門）の舞台においては必須です。

ボディーの装着はあなたの作品を競技委員や一般の見学者によりアピールするためのものです。華やかな大会になることを期待しています。

作成手順（下記の方法とは別に、国家試験用のショルダーを使用しても構いません）

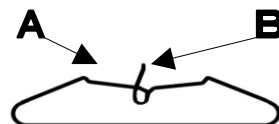
①針金ハンガー（針金にビニールを被せてあるもの）を用意します。



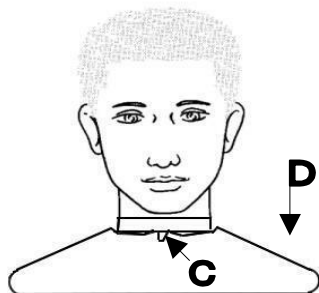
②引っ掛ける部分を反対向きに曲げます。



③Aのように、ウィッグの下  
のキャップに合うように  
平らにし、Bの引っ掛ける  
部分を少し矯正しウィッ  
グの下  
の穴に入りやすく  
します。



④Cにクランプとハンガーをいっしょに差し込むことにより、しっかりと固定されます。Dの肩の部分にパットを着けたり、針金等で厚みを出したりすると、衣裳を着せた際、より自然に見えます。  
また、ウィッグの場合、首が人間より細いので、安全ピンなどでシャツをとめると良いでしょう。



ダンボールを使用しても構いませんし、独自に工夫して作ってみてください。  
衣裳もジャケットを着せたりタイを変えたりし作品イメージと合わせて、トータルで表現してください。

（参考例）

